

平成26年7月31日

報道関係者 各位

島原市自主文化事業 ミュージカル「ピノッキオの冒険」の開催について

このことについて、別添チラシのとおり、夏休みの児童向け文化事業として開催いたしますので、お知らせします。



有明海にひらく湧水あふれる
火山と歴史の田園都市 島原

担当：社会教育課

歴史・文化班 土橋・林田

電話：0957-68-5473（内線 651）

E-mail：shakyo@city.shimabara.lg.jp

◆島原市自主文化事業◆

ミュージカル ピノッキオの冒険

星に願いを...



本当の人間になるため

冒険の旅を続けるピノッキオ。

歌と踊りの楽しいミュージカルです!!



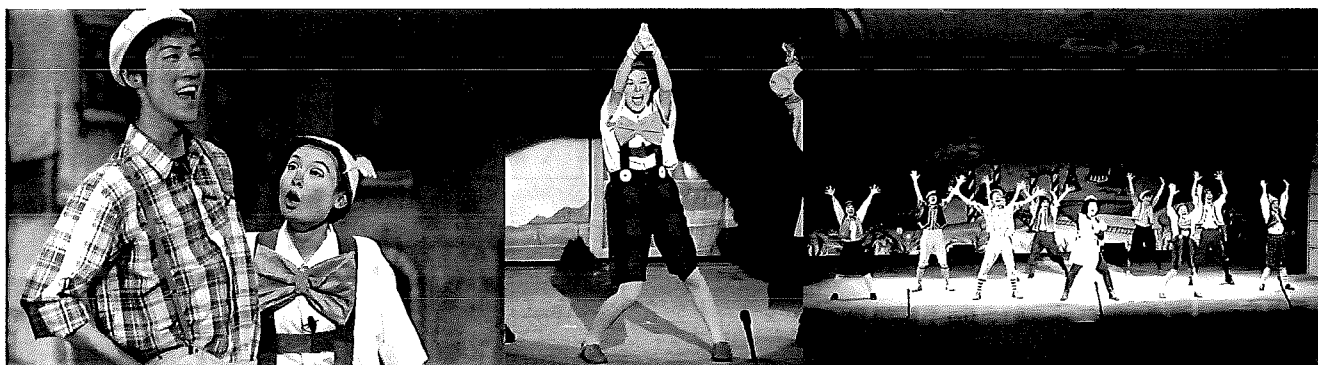
■と き 平成26年 8月 2日 土

開場／13:30 開演／14:00

■ところ 島原文化会館 大ホール

■入場料 ￥500 (全席自由席) 入場券は島原文化会館、
島原市有明総合文化会館でお求めください。

※この事業は、サマージャンボ宝くじ基金交付金を活用しております。



【主催】島原市・島原市教育委員会

【共催】島原市教育文化振興事業団

【ストーリー】

ある日、ゼベット爺さんは、不思議な材木で男の子の人形を創りました。そして、とても可愛く出来上がったその人形に、ピノッキオという名前をつけました。
ひとりぼっちのゼベット爺さんは、その人形が、本当の子どもになって欲しいと、星に願いを掛けました。



ゼベット爺さんは星に祈りました

ゼベットの願いを聞いてくれた星の妖精
ブルーノは、ピノッキオに生命を吹き込み
ました。

♪夜空の星に 明るい星に祈ってごらん
どんな願いもいつかきっと叶うだろう
夢見る心忘れなければ
どんな望みも叶うだろう♪



『まだあなたは本物の人間じゃないわ』

『本当の人間になる為には、色々な体験をすることね。そして、学ぶのよ。勇気や誠実さや他人を思いやる心をね。大切なことよ。それにはまず、善いことと悪いことの区別がつかなくや…』

学校 ～ 劇団 ～ 船の旅 ピノッキオの冒険はつづく！ 本当の人間になれるのでしょうか！？

【保護者の皆さんへ】

イタリアの作家、カルロ・コッローディ（1826～1890）原作の、「ピノッキオの冒険」は、世界中の子ども達に愛された先品です。
ピノッキオの魅力は、何と言っても、物語の主人公によくある、型にはまった模範的な清く正しい青年ではなくて、どこにでもいる、ありふれた、現実の少年の姿にあると言えます。明るくて元気はいいのですが、発達途中のため、わがままで、周りの人々の忠告や意見を聞かず、自分勝手に、勉学の意欲が乏しく、善いことと悪いことの区別もつかず、現実問題につまずいてばかりです。そんなピノッキオの姿は、辛抱したり、我慢したり、耐えなければならない事に弱く、すぐに目先の楽な方に、便利な方に、得する方に流されがちな現代の子ども達の風潮そのものです。しかし、愛情深いまわりの人々の忠告、指導、激励、慰め等々、善い関わりによって少しずつ成長していきます。本当の人間になるには、何が必要か、何が大切かを感じてもらえたらうれしいです。

■スタッフ

原作：C・コッローディ
振付：盛田 裕之

脚本：だんいっせい
美術：ガランアート企画

演出：伊東 孝則
照明：佐川 恵麻

音楽：盛田 裕之
制作：水内 壽子